

計画概要

建設場所 伊勢市楠部町 3038 番地（現地建替え）

敷地面積 約 36,800㎡

延床面積 病院棟 :24,870㎡（エネルギー棟含む）
保育所： 250㎡

構造 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造
（柱:PCaRC造、梁:S梁造、免震構造）

階数 地上 5 階 塔屋 2 階（機械室・ヘリポート）

病床数 300 床（一般 220 床、緩和ケア 20 床、療養 20 床、回復期リハ 40 床）

診療科 20 科

内科・循環器内科・外科・消化器外科・整形外科・形成外科・皮膚科・泌尿器科・
産婦人科・小児科・耳鼻いんこう科・眼科・精神科・歯科口腔外科・放射線科・
麻酔科・神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科・緩和ケア内科

新市立伊勢総合病院

基本理念

『人間性豊かな市民病院』

～市民の健康増進、生活の質の向上を目指して～
～愛情と誇りを持てる病院を目指して～



平成 27 年 11 月作成



新病院整備の基本方針

1. 質の高い良質な医療を提供します。
2. 患者中心の良質なチーム医療を醸成します。
3. 他の医療機関、福祉施設などと緊密なコミュニケーションを図ります。
4. 行政と協働して政策医療を実行し、市民病院としての責務を果たします。
5. 災害時に拠点となる病院として、市民の命を守ります。
6. 病院を維持、継続できる安定した経営基盤を確立します。
7. 働きがいがあり、報われる職場となる就業環境の改善に取り組みます。
8. 優秀な人材の育成、確保、定着に努めます。

建設整備方針

1. 患者本位の良質な治療・療養環境の整備
2. 職員にとって使いやすく働きやすい「機能性」や「柔軟性」を重視した職場環境
3. 周辺環境や地球環境に配慮した施設づくり
4. 健全経営の推進

工事スケジュール

軟弱地盤対策が必要な新病院敷地の造成工事については、建設工事に先立って着工を予定しています。

建設工事については、平成27年度に施工予定者を選定し、より良い工程の提案を実施設計へ反映させ、工事スケジュールなどの詳細を協議し、平成28年度の着工、平成30年の開院を目指します。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
建設設計業務	基本設計 造成実施設計	実施設計	
建設工事		施工予定者選定 実施設計の支援	建設工事
敷地造成工事		建設地造成工事	

事業費の見直し

基本設計完成時点での工事費積算により、新病院建設事業費の見直しをしました。

労務単価や建築資材の高騰などの影響により、大幅な増加となります。

事業費の約75%が病院事業債（借入）となり、元利償還の際には、一般会計からの財政支援も受けて、新病院建設を進めていくことになります。

(単位：百万円)

	平成25年3月 基本計画	平成27年8月 基本設計完成時点
用地取得	80	163
調査・設計等	262	304
工事 (うち建設工事)	8,293 (7,087)	13,524 (11,400)
医療機器等	2,700	2,700
諸準備	75	129
合計	11,410	16,820

この概要は、今後の実施設計および施工の段階で一部変更することも想定されますので、あらかじめご了承ください。

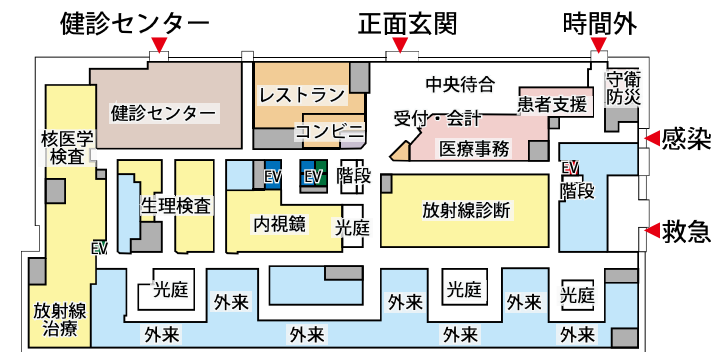


看護部キャラクター
「伊勢野ころちゃん」

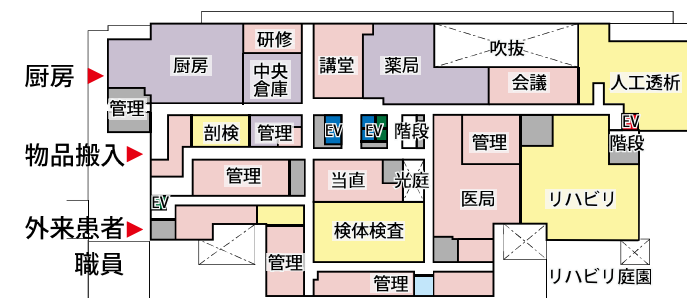
配置・外構計画



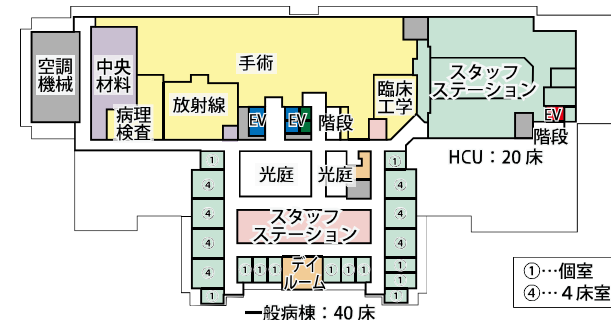
1階 外来・検査部門、レストランなどの外来患者利用施設を集約配置し、わかりやすさの向上と移動負担の軽減を図ります。



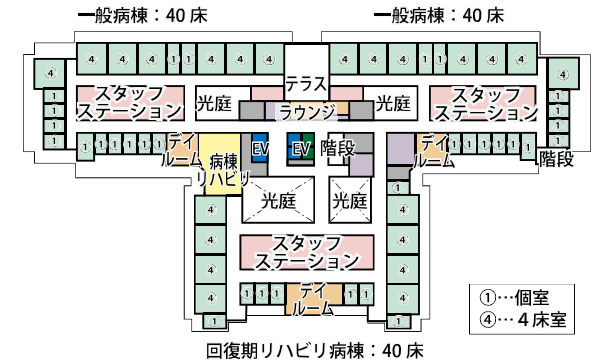
2階 リハビリ・透析部門を配置し、南側のリハビリ部門には、専用庭園を設置するなど明るく広い環境を整えます。



3階 関連性の高い手術部門・HCU・外来系病棟を集約配置し、1階の救急部門と専用エレベーターにより動線を確保します。



4階 一般病棟と回復期リハビリ病棟を配置し、回復期リハビリ病棟には病棟内リハビリスペースと歩行訓練ができるゆとりのある廊下を確保します。



5階 療養病棟と全室個室の緩和ケア病棟を南側に配置し、緩和ケア病棟には、ゆとりのあるデイルームを設置します。



屋上 緩和ケア専用と一般用の屋上庭園を設置します。

